

光化学スモッグQ&A

- Q1 光化学スモッグとは何ですか？
 A1 光化学オキシダントと呼ばれる酸化性物質濃度が高くなり、スモッグ状（霧やもやのようなもの）となる現象のことです。光化学オキシダントは、工場や自動車からの排気ガスに含まれる大気汚染物質が、紫外線を受けて光化学反応を起こして発生します。
- Q2 どのような通知がありますか？
 A2 市では県より発令連絡を受け次第、速やかに通知を行います。通知内容は、予報・注意報などの発令通知と発令解除通知の2種類です。通知の方法としては、「防災ネットかこがわ」「市ホームページ」等を予定しています。
 また、市民センターでの掲示板等でお知らせしています。黄色なら予報、赤色なら注意報です。
- Q3 外に出ても大丈夫ですか？
 A3 光化学スモッグが発生すると、目や鼻・のど等の粘膜に激しい刺激を受ける可能性があります。外出はなるべく控えて下さい。また、症状や程度に個人差がありますが、刺激を受けた場合は医師の診断を受けることを推奨しています。
- Q4 窓は閉めた方がいいですか？
 A4 光化学スモッグによる健康被害を防ぐために閉めることをお勧めします。
- Q5 いつになったら外に出られますか？
 A5 発令が解除になるまでは外出を控えて下さい。防災ネットかこがわで発令解除をメールでお知らせします。ただし、あくまで目安ですので、外出される時は十分注意してください。
- Q6 子どもは学校から帰って来れますか？
 A6 担任の先生の指示に従ってください。
 発令日当日は、放課後の屋外での活動を控えるよう呼びかけ、子どもの体調により一層注意を払ってください。
- Q7 日没になると光化学スモッグの発令は解除されますか？
 A7 日没になるにつれ、光化学スモッグの発令が解除されるケースが多いです。しかし、近年では地球温暖化やヒートアイランド現象等の影響により、光化学スモッグが日没以降も大気中に残留することが見られるようになりました。そのため発令の解除が日没以降になることもあります。
- Q8 発令の基準は？
 A8 大気中の光化学オキシダント濃度が1時間平均値で0.10ppmを超え、その濃度が継続すると判断された時点で光化学スモッグ予報が発令されます。注意報や警報は、さらに光化学オキシダント濃度が1時間平均値0.12ppm、0.24ppmを超えてなおその濃度が継続すると判断された時点で発令されます。
- Q9 前回の市内での発令日は？
 A9 前回は令和5年5月17日(水)に発令されました。

